

# むらの 話題



地域の話題をお待ちしています  
(広報係 ☎ 885-0340 内線205)

## ノーテレビ・ノーゲーム運動 推進大会が開催されました

7月19日、中央公民館で「第4回美浦村ノーテレビ・ノーゲーム運動推進大会」が開催されました。この運動も今年で4年目を迎え、昨年の効果測定調査では着実に浸透していることが明らかになった。一方、スマートフォン（スマホ）やインターネット等の、いわゆるメディア中毒になっている子どもも少なからずいるということが判明しています。当日は、恒例の「親子で考える標語」の表彰を行った後、スマホ社会とメディア依存についての講演が行われ、その背景分析と問題提起により、この社会現象の危険性を共有することができ、有意義な大会となりました。



最優秀賞の椎名一斗さん

- 【親子で考える標語審査結果】
- 最優秀賞 大谷小学校1年 椎名一斗さん  
「はやくねて テレビみないで ゆめをみる」
  - 優秀賞 木原小学校6年 中島歩夢さん  
「ノーテレビ 増える会話と 家族の笑顔」
  - 優良賞 美浦中学校3年 國分竜二さん  
「スマホやめ 家族で並んで 食事会」
  - 優良賞 安中小学校5年 堀越ひなたさん  
「テレビ消し 会話ははずむ ぼんぼん」

## 村民ボランティアによる 道路草刈清掃作業



## 美浦村建設業協会 草刈りボランティア

8月8日、美浦村建設業協会（伊藤孝司会長）では、村役場庁舎脇の国道125号線バイパス陸橋付近の草刈を行いました。同協会に所属している事業者から40名以上の方が参加され、バイパス進入路脇の急斜面や陸橋付近の擁護壁の生垣等、除草作業が難しい場所の雑草を手際よくきれいに刈り取っていただきました。作業終盤には雨に見舞われたの中での作業、大変お疲れさまでした。

8月2日、応募いただいた村民ボランティアの方々を含む総勢43名で、道路の草刈清掃美化活動を行いました。

11回目となる今回も、小・中学生や歩行者の安全を確保するため、村役場東交差点付近の歩道に張り出した雑草の除去・ゴミの清掃を行いました。ご協力頂いたボランティアの皆さま、猛暑の中の長時間にわたる作業、大変お疲れさまでした。

## 2年連続 インターハイへ



小泉涼花さん(土屋)

7月25日、小泉涼花さんが村役場を訪れ、全国高校総合体育大会（インターハイ）の柔道種目へ2年連続で出場することを村長に報告しました。小泉さんは小学2年生から美浦柔和会で柔道を始め、中学3年生で全国大会に出場。高校では2年連続で県大会を制し、茨城県代表として昨年に引き続きインターハイ出場を決めました。

普段はおっとりしていて、のんびりやさん等と言われるそうですが、柔道着を身にまとうとさすが、凛々しい表情ですね。これからのますますのご活躍が期待されます。

## 第41回地区対抗野球大会

7/20 光と風の丘公園野球場



優勝：一の宮 準優勝：下舟子  
 最優秀選手 木鉛卓資さん(一の宮)  
 優秀選手 塚田剛史さん(下舟子)

## 美浦村民グランドゴルフ大会

7/8 光と風の丘公園多目的広場

### 【大会結果】

《男子》優勝 石沢 正さん  
 準優勝 高松幸一郎さん  
 第3位 石井勝正さん  
 《女子》優勝 中根京子さん  
 準優勝 藤田佳子さん  
 第3位 細谷たか子さん



## 平和を願う朗読会開催



8月9日、中央公民館にて、美浦の女性活動を未来に繋ぐ会・「結」主催の「平和を願う朗読会」が開催され、会場は満席となって急きよ補助席が用意されるほどの盛況をみせました。

読み手にフリーアナウンサーの加奈さんを迎え、峠三吉作「原爆詩集」、阿見町予科練平和記念館に寄稿されている「特攻隊遺稿集」、ユダヤ人迫害を題材にした「シヨールの女」、沖縄の小学生安里有生さんの詩を長谷川義史さんが絵本にした「へいわってすてきだね」が朗読されました。

会場を訪れた皆さんは、加奈さんの朗読に耳を傾けながら、戦争の悲惨さや平和について思いをさせているようでした。

## 美浦村花いっぱい運動 コンクール開催!



7月29日、村中央公民館において「第15回美浦村花いっぱい運動コンクール」の表彰式が行われました。各賞のうち、村長賞受賞の「土浦老人クラブ」、教育長賞受賞の「牛込根本太陽クラブ」が、「第42回花と緑の環境美化コンクール」(大好きいばらき県民会議等主催)へ推薦されました。皆さんも、地域や職場で花いっぱい運動に取り組んでみてはいかがでしょうか。

### 【コンクール結果】

村長賞 土浦老人クラブ  
 教育長賞 牛込根本太陽クラブ  
 議長賞 馬見山花の会  
 区長会長賞 上舟子老人会  
 厚生文教委員長賞 信太みどりの会  
 総務部長賞 大須賀津神明クラブ  
 努力賞 フラワーガーデン大山、山内老人花の会、馬掛老人会花壇、茂呂地区、美浦村農産品直売協議会(順不同)



## いなしき食農交流 ミニフォーラム

7月25日、中央公民館において、稲敷地域女性農業士会と同農業改良普及センターによる「いなしき食農交流ミニフォーラム」が開かれました。

ミニフォーラムでは、女性農業者19人と村内の小学生や保護者27人が一緒になって地元の食材を使って料理し、一緒に食事をしました。メニューは、旬の野菜と特産米「美浦そだち」の米粉でカレールーを作り「美浦そだち」のご飯にかけたカレーライスと、美浦村産そば粉入りのパンケーキ。

食後には美浦村の農業や田んぼに関するクイズ等も出題され、楽しいひとときとなりました。

# 美浦中学校生徒が福島で 復興支援ボランティア活動をしました！

8月3日、美浦中学校の生徒28名が、福島県安達郡大玉村(災害時相互応援協定締結村)の安達太良地区応急仮設住宅におもむいて、ボランティア活動を行いました。この活動は、青少年育成美浦村民会議(葉梨輝夫会長)主催の青少年育成事業の一環として実施されたもので、当日は猛暑の中の活動となり、ボランティアに参加された皆さんは体調に気を使いながらも、一生懸命雑草の除去作業をしていました。

また、支援物資として「みほ絵てがみ同好会『彩』」の会員が心を込めて制作した絵てがみを贈呈。仮設住宅で避難生活をしている高齢者の方に、生徒たちから直接手渡されました。

活動後は、福島県産の農畜産物を使用した料理を試食。原発事故に係る風評被害に苦しむ中で、生産者と自治体が行っている安全確保に向けた取り組み等の説明を受け、その安全性を確認。とても美味しい昼食をいただきました。参加した皆さんは大震災の現状を身近に感じ、貴重な経験となりました。



## 仮設住宅自治会長さんから お礼の手紙をいただきました

美浦村の明るく元気な中学生と交流することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

原発事故後、福島県双葉郡富岡町から大玉村に避難して、4回目の夏を迎えました。多くの町民がふるさとへ戻り生活することを望んでいますが、眼に見えぬ放射能の不安等により、その道のりは長く困難なものと思われ、望みをつなぐ気力を失いかけておりましたが、心温まる絵手紙をいただきまして、住民のみんなに活力を与えていただきました。

美浦村の中学生の皆さん、みほ絵てがみ同好会「彩」の皆さん、本当にありがとうございました。《自治会長鎌田光利》

## みほ文芸

正調俳詠 日和吟社題「夏・草」一字以上詠み込み有季無季随意

夏の風物燈籠流し父も来てるか草の影  
耐えた戦後のないく生活孫と語った夏休み  
五山送り火真夏の夜に燃える『大』の字京の盆  
生きる支えは地域の絆夏も四度目の被災の地  
見張る球児の同点ヒット胸が高鳴る夏の陣  
夏の夜空に勝負を賭けて咲かず花火師雨に泣く  
帰省した娘と一夜の踊り絆深めた夏まつり  
勝手元から涼しい夏の音が弾んだ胡瓜揉み  
波にさらわれ揺られて気まま海を旅するゴム草履  
四季の草花綺麗に咲かし余生楽しく土いじり  
スターマインの光と音が消えて静かな夏の月  
磯で集めた貝がらビンに詰めた想いで巡る夏  
夏の水やり節約自慢風呂の残り湯運び出す  
亡父が来たよなざわめく草に迎え提灯盆座敷  
辛い戦争忘れず生きる夏は先祖に墓参り  
浴衣着ている彼女を見れば夏が知らせる恋予感  
背丈延びたる夏草刈られ風が通るよ遊歩道  
見えぬ風にも飛ばされ根づく荒野元気な草ばかり  
雷雨突然大地を揺らす夏につきもの困りもの

### 八月の俳句(題 当季雑詠)

心天とかくつまづく齡となり  
千年もつづけこの色青田波  
敷石のすき間占領血止め草  
下駄箱に遠き思ひ出山登り  
満天の織りなす星に母の顔  
朝露にきらきら光る稲の花  
父と娘の並びて打てり盆太鼓  
散歩道ぶつかかるほどのトンボかな  
迎え盆遣影の母は丸まげで  
新涼の起きてすぐ詠む一句かな  
譲られし薄もの譲り終仕度  
朝露のしっとり光る百花園

小藺江久美  
下村松陽  
渡辺希代  
田島草実  
本橋清湖  
山崎笑子  
上野八千代  
飯塚筑風  
石戸律華  
伊藤葉子  
高橋一步  
門脇悠美  
木村幸子  
塚本夏雲  
沼寄朋香  
磯西涼香  
小池きよし  
関根ヒデ子  
長谷川悦子

(五十音順)

青野安佐子  
石毛恵美子  
伊藤八千帆  
岡野洋子  
木澤はしめ  
高柳幸子  
田島早苗  
中島輝子  
松葉よしの  
松本秀子  
宮崎さみ枝  
矢原はつひ